

▼石原市長へ被災地の様子を話す落合代表



まちかど 探訪

-Event of town-



ハマヒルガオ
浜岡砂丘

な 被災地へ市民ボランティア ぶらプロジェクト始動

●●● 4.19

御前崎災害支援ネットワーク（落合美恵子代表）のメンバー7人が、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた岩手県大槌町でのボランティア活動を終え、市長に被災地の状況や活動内容を報告しました。メンバーは「避難所生活は、プライバシーもないので何とかしてあげたい。災害ボランティアを支援する方策や耐震の建物に外階段を付けるなどの防災対策もお願いしたい」と市長に要望しました。

▼つゆひかりの新芽を摘み取る参加者たち



御前崎茶の魅力がいっぱい つゆひかりの初摘み体験

●●● 4.16

市内のあらさわふる里公園とその周辺茶園で、つゆひかり初摘み体験&茶園ライトトレッキングが開催され、市内外から応募した参加者ら約50人が、新緑の茶園を歩いて心地よい汗を流しました。

「つゆひかり」は新品種のお茶で、やさしい渋みの中に凝縮された旨味と甘味が特徴。参加者は、新茶の初摘みや手揉み体験をした後、お茶を使ったお菓子や料理を試食し、心地よい春の陽気のもと、お茶の魅力堪能しました。

船 灯台の歴史と文化を紹介する の道しるべ灯台まつり

●●● 5.3

5月3日から5日にかけて御前崎灯台を守る会主催の「灯台まつり」が、御前崎灯台で開かれ、市内外から大勢の来場者が訪れました。

会場では、写生会や貝細工体験が催され、特設資料館では、灯台の歴史が分かる資料や写真の展示、御前崎灯台をロケ地として撮影された映画「喜びも悲しみも幾歳月」の映像が流されました。

御前崎小と白羽小の児童によるなぶら太鼓やよさこいソーランが、まつりを一層盛り上げました。

▼灯台の前に踊りを披露する児童たち

